

# 強制解雇、「新体制」は認めない

## 24時間ストに突入し、抗議集会開く



怒りを込めて開かれた抗議集会。広がれ、このたたかい。

抗議集会には組合員、主婦会、へん決意を述べ、主婦会を代表し退職者の会、大牟田実行委、荒尾、て藤田事務局長があいさつし、守る会をはじめ福岡県評、熊本県評、社会党、共産党代表も参加し、福岡県評を代表して坂本議長はあらためて合理化を許さないたたかいを今後も強く進めていくことを誓いました。

集会では、中原組合長がこれまでのたたかいの若干の経過を報告するとともに、力強い支援に感謝してたたかうと激励。ついで福岡県本県評事務局長は「三池の労働者をたたかいは全国の労働者に示す」とも述べた。

希望退職と基準退職によって七百三十人を削減するという三池炭鉱の大合理化は、基準退職についての交渉が決裂したあ、二十二日に三池炭鉱の対面者に対して解雇通告状を発送、三池炭鉱は豪雨の二十三日炭鉱所前で抗議集会を開き、また、十三日から続けられていた第一鉱前の座り込みの解散、さらに七月四日から強行される「新体制」発定に抗議して三十日、二十四時間ストライキに突入するとともに午後三時から同所で「基準退職・新体制強行抗議・座り込み解散集会」を開きました。

「地労委でのあせんと拒否する態度に資本の論理は明らか。三井鉱山と三井石炭は社会的責任は何ら果していない。長いたたかいとなるが、裁判闘争にも全面支援し、たたかう」と激励。ついで福岡県本県評事務局長は「三池の労働者のたたかいは全国の労働者に示す」とも述べた。

現役の組合員を代表して栗野一分会分会長は「首切り後の新体制を断る」と力強く訴えました。



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
電話(53)3033-4  
編集人 杉本一男  
発行人 杉本一男  
半年間1,800円 送料共  
振替口座番号  
労働金庫大牟田支店  
825-0000569

### 炭労118回定期大会

炭労第一八回定期大会が七月十二日から二日間、炭労本部で開かれます。

すでに議案説明、対案の提案が終わり大衆討論が進められてい

炭労第一八回定期大会が七月十二日から二日間、炭労本部で開かれます。

まず、大会議案は、①当面の石炭政策闘争。②一九八八年の八九年運動方針。③上期期末手当闘争。④八八年秋・年末闘争。さら

### 配転・職変を強行

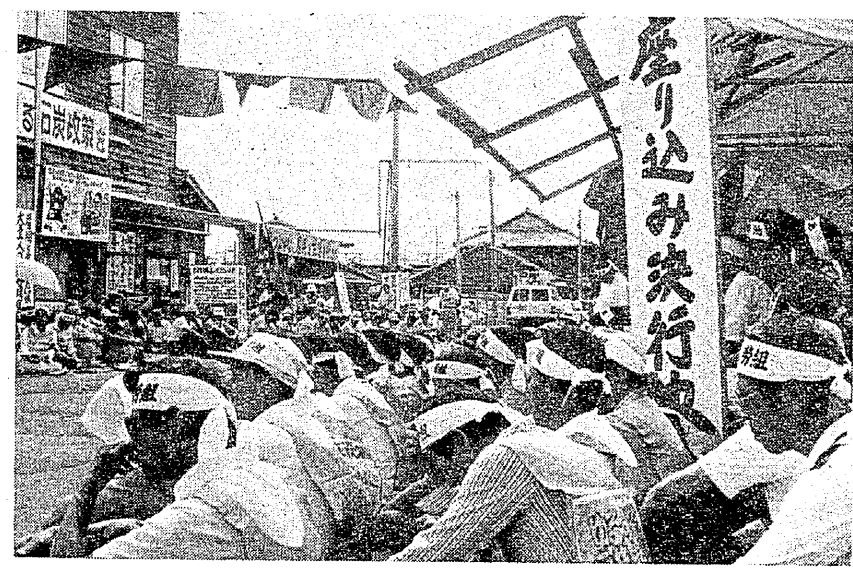
会社は、七月からの「新体制」発足に伴って、希望退職と基準退職による配転と職種の人員の不均衡を是正するとして、配転と職名変更を実施すると提案。配転は第一鉱から第二鉱へ百三十五人など百四十二人。職名変更は第二鉱で五十四人。配転と職名変更の希望者は少なく、多くは指名による強制配転となり、職名変更は三池炭鉱の三人が採炭か

三池炭鉱の人員推移  
(概数・下請けを含む)

S61年3月末	5,160人
S62年3月末	4,160人
S63年7月	3,330人

希望退職・基準退職の実態

希望退職応募者	296	333人
三池新労組	2	
三池職組	35	
基準退職対象者	312人	312人
6月末	12月末	
三池新労組	191 51	
三池職組	24 7	
三池職組	26 13	



組合事務所前の道路をはさんで全員が座り込む。

### 港務所期末手当交渉へ

三井鉱山三池港務所の六十二年上期の期末手当交渉が四日から始まります。要求額は人当たり平均五十五万円で、七日決着を目指す。石炭関係は、春闘が延期となり期未交渉は炭労大会終了後の十四日から始まる予定です。

### 300万トン体制へ 上期出炭は165万トン 上期生産会議で計画提示

生産削減に伴う大合理化を進めている三池炭鉱所は六月二十一日、六十二年上期の中央生産会議で、六十二年下期の出炭実績・その他、さらに六十二年の出炭・人員・掘進計画を提示しました。

その他を提示しました。

組合員は、①三池炭鉱の中長期の生産計画・人員計画。②七月からの新体制の具体策。③下請けの計画。④社宅集約化計画。⑤集約化・大型化・機械化の現状と今後の計画。さらに、⑥貯炭。⑦鉱工費、硬捨て。⑧水道一元化。⑨企画課。⑩アジランド。⑪三池商事。⑫就職対策室。⑬海外炭などについて質問しました。

①については「不透明な部分が多く現段階では明らかにできない状況ではない」と答えました。

S62年下期出炭実績 (単位: トン・%)

第1鉱	計	実績		遂行率	能率
		計	実績		
第2鉱	港沖	320,000	399,687	124.9	126.4
	三川	700,000	665,123	95.0	109.8
計	730,000	680,335	93.2	126.3	
計	1,750,000	1,745,145	99.7	107.1	

S63年上期出炭計画 (単位: トン・%)

第1鉱	計	能率	払数
第2鉱	900,000	116.3	2
	750,000	142.9	2
計	1,650,000	112.8	4

S63年上期人員計画 (単位: 人)

第1鉱	下/62期末	上/63期末	増減	備考
第2鉱	935	884	- 51	
本所	181	162	- 19	
計	2,683	2,158	- 525	

S63年上期請負計画 (単位: 人)

第1鉱	下/62期末	上/63期末	増減
第2鉱	245	240	- 5
計	560	530	- 30